

広げよう
科学のこころ
つなごう
友情の絆

第4回

科学の甲子園 ジュニア

宮城県予選大会「みやぎチャレンジジュニア 2016」

- ◆日時 平成 28 年 8 月 27 日(土曜日) 10:30~16:00(予定)
- ◆会場 宮城教育大学(保護者の引率が必要です。)
- ◆対象 中学1~2年生の3人1組(午前:筆記競技, 午後:実技競技)
(予選成績上位2チームの計6人が、県代表として全国大会へ!)
- ◆特別開催 小学生チャレンジの部(午後の実技競技のみ参加)
小学6年生の3人1組で参加(全国大会には出場できません。)



科学の甲子園ジュニア

科学の甲子園ジュニアは、各都道府県から選出された中学生6名の代表チームが、理科・数学等における複数分野の競技にチームワークで取り組み、日本一を目指す大会です。

詳しくは、
科学の甲子園ジュニア
ホームページをご覧ください。

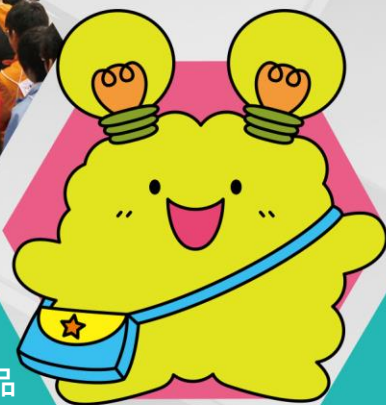
<http://koushien.jst.go.jp/koushien-jr/>

~全国大会~

平成 28 年
12 月 2 日~ 4 日
「BumB 東京スポーツ
文化館」
交通費、宿泊費は
かかりません。

小学生の部

小学生の部への
参加者全員に記念品
をプレゼント!



イメージキャラクター
「アッピン」

「科学の甲子園ジュニア - みやぎチャレンジジュニア 2016 - 」開催要項

- 1 目的
理数教育の充実の一貫として行われている高校生を対象とした科学の甲子園の中学生版として、総合的な問題に取り組む競技形式の大会を通し、科学好きな児童生徒の底辺拡大を図るとともに、トップ層を伸ばすことを目指す。
なお、本大会は平成28年12月に東京で行われる「第4回科学の甲子園ジュニア全国大会」(以下「全国大会」という。)の県予選を兼ねるものとする。
- 2 主催 宮城県教育委員会
- 3 参加資格
 - (1) 県内の中学校(中等教育学校)の生徒のうち、1年生及び2年生3名1チーム構成
 - (2) 1つの学校からの参加チーム数は4チームまでとする。
 - (3) 1つの学校からチームとしての参加が難しい場合には、複数の学校による合同チームとしても構わない。
 - (4) 実技競技のみ参加できる小学生チャレンジの部を設け、科学好きな小学生の意欲を高めるとともに、次年度大会参加者の拡大を図る。
- 4 日時 平成28年8月27日(土) 10:30~16:00
- 5 場所 宮城教育大学 理科学学生実験棟 2階 理系第二実験室
〒980-0845 仙台市青葉区荒巻字青葉149番地
- 6 次第
 - (1) 受付 10:30~10:45
 - (2) 開会行事 10:45~10:55
 - (3) 筆記競技 11:00~11:40(40分)
 - (4) 昼食(小学生の部受付) 12:00~12:30
 - (5) 実技競技 12:40~14:10(90分)
 - (6) 休憩(採点・集計) 14:10~15:10
 - (7) 閉会行事 15:10~15:30(終了後片付け)
- 7 競技内容について
 - (1) 筆記競技について
理科・数学等の複数分野において、実生活・実社会との関連、融合領域に配慮した出題とし、修得済みの知識に加えて、競技に必要な新たに示された情報を統合することで課題を解決する内容とする。
筆記競技の時間は40分とし、3人で協同して解答する。
 - (2) 実技競技について
ものづくりの能力、コミュニケーション能力等を用いて課題を解決する力を競うものとする。
実技競技の時間は90分とし、3人で協同して解答する。
- 8 審査・表彰
 - (1) 総合点数は筆記競技の点数と実技競技の点数の合計によるものとする。
 - (2) 総合点数は600点満点で、筆記競技300点、実技競技300点の配点とする。
小学生チャレンジの部は、実技競技300点満点で競う。
 - (3) 総合得点の上位3チームを表彰し、うち上位2チームを全国大会に推薦する。
- 9 持参物(準備物)とその他
 - (1) 筆記用具、一組の三角定規、コンパスを各自準備する。
 - (2) 昼食は原則として各自持参。食事をする場所は萩朋会館(宮教大学食)利用とするが、食堂も営業しているので、引率保護者とともに食堂を利用することも可とする。
 - (3) インターネット接続が出来る機器の使用や、携帯電話等を通じた外部との接触は禁止とする。
- 10 担当
宮城県教育庁 義務教育課 指導班 主幹 加藤 琢也
〒980-8423 仙台市青葉区本町3丁目8-1
電話 022-211-3643 メール kato-ta173@pref.miyagi.jp